

「消防団の力向上モデル事業」 事業紹介

事業名 子ども用防火服等を活用したイメージアップ事業

自治体名

青森県弘前市

消防団名

弘前市消防団

1 事業の目的・必要性

(1) 目的

令和4年度に実施した「弘前市消防団ふれあいフェア」における来場者アンケートでは、消防団に加入しないと回答した方の理由が「子育て中」、「仕事が多忙」、「時間的に余裕がない」等の意見が多い結果となりました。

アンケートの意見を参考に、消防団員と市民が直接ふれあうことで、消防団が身近な存在になること、またよりよく知ってもらうため、消防団のイメージアップ及び加入促進を図ります。

(2) 必要性

地域でのイベントを通して、消防団活動への地元の理解が深まり、消防団の認知度向上及び加入促進を図りやすくなるものです。

また近年大雨等の大規模な災害も想定されるため、一定の訓練を受け、かつ地域に根差した消防団員が、市民と直接ふれあう場を地道に継続することで、消防団の必要性や役割を地域に知ってもらう重要な機会となります。

2 事業内容

多くの方に消防団活動をPRするため、弘前市消防団ふれあいフェアとして、市内で開催されたイベントにブース出展等を行うことを3回に分けて実施しました。

具体的には、子ども用防火服を活用した消防団活動体験や消防団車両乗車体験、消防団の伝統を知ってもらうために纏、梯子、ラッパの演技・演奏を披露しました。



3 事業成果

イベントを開催し、PRブース来場者を対象としたアンケートでは、783名の方に回答をいただき、「消防団に加入してみたいですか」という質問に対し、144名(18.4%)は「したい」、558名(71.3%)は「したくない」、81名は無記載でありました。「したくない」と回答した方は、「忙しい・時間が取れない」、「大変そう」、「活動が良く分からない」という理由が多く挙げられたことから、普段の生活で精一杯な市民が多く存在するものと推測されます。

そのため消防団の活動内容を丁寧に説明することや、活動は強制参加というものではなく、自分のできる範囲で参加ができることなどを、広く周知することが入団促進につながるのではないかと考えられます。

将来の消防団の担い手となりうる子どもを対象としたアンケートでは、今回実施した「弘前市消防団ふれあいフェア」のイベントについては、今回実施した「弘前市消防団ふれあいフェア」のイベントについては302名中249名(82.5%)が「楽しかった」と回答し、263名(87.1%)が「消防団をカッコいい」と感じ、97名(32.1%)が「将来、消防団になりたい」と思ってくれました。

このことから、子ども達には継続してイベント等を通し消防団をPRしていくことが重要であると考えます。

4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
検討会・打合せ	回数	5回	2回	
広告媒体	作成・配布数	500部	2,000部	
イベント実施	回数	1回	3回	

5 その他参考情報